

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 日朝の歴史 | 日朝の歴史 (6)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

日朝の歴史 (6)

日清戦争での日本の勝利により朝鮮は独立を果たすが、このままでは日本の言いなりになってしまうという声が高まり、ロシアと手を組んで日本と対抗しようという動きが朝鮮の宮廷内で出てくる。

ロシアも南下政策をとっており、日本のアジア進出と対立していた。

そして1904年、日露戦争が起こる。

日本はイギリスの支援を受けて日露戦争に勝利し、第二次日韓協定により韓国の外交権を奪うが、これは事実上の韓国支配であった。

そして1910年には、日韓併合条約により韓国は完全に日本の植民地となる（「韓国併合」）。

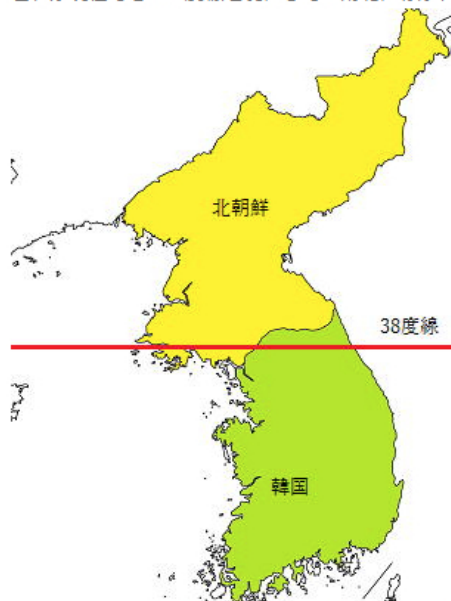
その後日本は、第二次世界大戦に敗れ、朝鮮半島の統治権を放棄した。

大戦末期に日本に宣戦布告したソ連は、満州や朝鮮半島に侵攻を続けた。

このままだとソ連に単独で朝鮮半島を占領されると危惧したアメリカは、北緯38度線で分割することを提示しソ連もそれを認めた。

終戦後、ソ連とアメリカはそのまま軍を駐留させて、事実上の支配を続けた。

これが現在でも38度線を境にして、南北にわかれている原因である。



そして1948年、南北で別々に国家を樹立し代表選挙を行う。

南には「大韓民国」が樹立され、李承晩（イスンマン）が代表に就任。

北には「朝鮮民主主義人民共和国」が成立し、代表には金日成（キムイルソン）が就任した。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

>>一覧へ戻る

▶ キーワード検索はこちら

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.